



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第52巻第  
3号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第52巻第3号). 泌尿器科紀要 2006, 52(3): 240-240

ISSUE DATE:

2006-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/113796>

RIGHT:

3. 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。ただし、シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。
4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文：論文が採択された場合、原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し、編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎、また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし、特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円(税込)、英文は6,825円(税込)、超過頁は1頁につき7,350円(税込)、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は31,500円(税込)、6頁以上は1頁毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
8. 別刷：30部までは無料とし、それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

#### 編集後記

先日、第15回泌尿器科分子・細胞研究会を京都でお世話させていただいた。この会は発足当時フローサイトメトリーなどの定量的な細胞解析に関する研究会であったが、現在では上記のように名称も変更され、泌尿器科が関係するすべての基礎研究が対象となっている。また今回からは優秀な研究発表に研究奨励賞が授与されることになった。奨励賞の影響もあるのかもしれないが、ここ数年研究発表のレベルは格段に高くなったように思う。偶然にも会の当日にトリノ冬季オリンピック唯一のメダルであるフィギュアスケート女子の金メダルが決まった。賞を受賞した若手研究者の優れた研究発表には、そのこだわりや緻密さ、華麗さ、プレゼンテーション力において、イナバウアーやジャンプ演技と相通じるものがあるように感じられた。

この会は私が現職に就任して以来、初めて主催させていただく全国規模の研究会であった。私自身全くノウハウが無かったので、N講師に「業者を使わずに自分たちだけでやってみよう」と提案した。ありがたいことに、全国からたくさんの若手研究者に参加していただき、会も大きなトラブル無く終了した。本会が盛会にて終了したこともよろこばしいことであったが、N講師の学会運営の才能を見いだしたことが私の最大の収穫であった。

(小川 修)